

**令和6年度・取組
(3R推進協議会構成団体)**

株式会社 いなげや	1 ページ
株式会社 京王ストア	2
イオンマーケット株式会社	3
株式会社 マルエツ	4
丸正チェーン商事株式会社	5
株式会社 ファミリーマート	6
株式会社 三越伊勢丹	7
株式会社 小田急百貨店 新宿店	8
株式会社 京王百貨店	9
株式会社 高島屋 新宿店	10
株式会社 丸井 新宿マルイ本館	11
株式会社 ルミネ	12
株式会社 エフピコ	13
日本マクドナルド株式会社	14
コカ・コーラボトラーズ ジャパン株式会社	15
新宿区商店会連合会	16
四谷清掃協力会	17
牛込清掃協力会	18
新宿西清掃協力会	19
新宿区婦人団体協議会	20
新宿区エコライフ推進協議会	21
NPO法人 新宿環境活動ネット	22
新宿区のリサイクルを考える会	23
新宿環境リサイクル活動の会	24
新宿区立リサイクル活動センター (公益財団法人新宿区勤労者・仕事支援センター)	25
新宿区	26
株式会社良品計画	27
株式会社ダイエー	28

3R推進行動計画書（令和6年度の計画）

事業者名：(株)いなげや

◎環境・3Rに対する考え方

当社は引き続き ①プラスチック削減 ②食品ロス削減 ③食品リサイクル化 に取り組みます。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	レジ袋有料化継続	レジ袋辞退率79%	
(2)	資源の店頭回収の推進	店頭資源回収の継続実施 資源分別の啓蒙	店頭の各種資源回収の 回収量増	
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	発注精度の向上 発注システム導入 啓発活動	食品廃棄ロス額 2017年度（基準年度） 比80%削減	
(4)	事業系ごみの削減 (再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進)	食品リサイクル化推進	食品リサイクル率前年 比2%増	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和6年度の計画）

事業者名：京王ストア

◎環境・3Rに対する考え方

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 （レジ袋・紙袋・包装紙等）	・店内放送、POでマイバッグ持参の積極的なPRの実施 ・簡易包装の推進 ・声掛けなどの実施	レジ袋削減に向けてレジ袋辞退率75.0%の実現（全店平均）	
(2)	資源の店頭回収の推進	・店頭回収3品目（牛乳パック・トレイ・ペットボトル）を継続して実施	・店頭回収品目ごとに各種1台ずつを継続	
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	詰め替え品の販売促進	継続実施	
(4)	事業系ごみの削減 （再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進）	・食品残渣のリサイクルの検討 ・コピー用紙の削減 ・センター納品による（段ボール削減）	継続実施	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和6年度の計画）

事業者名：イオンマーケット株式会社

◎環境・3Rに対する考え方

地域のお客さまの「毎日の暮らしと環境に配慮した行動」のお役に立てるスーパーマーケットを目指します。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 （レジ袋・紙袋・ 包装紙等）	プラスチック製レジ袋を有料配布（LL5円・L3円）とし、お客さまへマイバッグご持参を呼びかけ、使い捨てプラスチックの削減に取り組みます。有料レジ袋はバイオマス素材配合のものを使用しています。（LLサイズ50%、Lサイズ30%）	レジ袋辞退率を維持し、少しでも使い捨てプラスチックを減らせるよう、お客さまへのご理解とご協力を呼びかけます。	
(2)	資源の店頭回収の推進	紙パック トレイ ペットボトル 店頭回収の継続実施	令和5年3月よりボトルtoトレイの資源循環の取組を開始しました。店頭回収した全量を資源として再生工場へ引き渡せるよう、分別の啓蒙に力を入れます。	
(3)	食品ロス・使い捨て プラスチック削減の 推進	お客さまのご家庭でゴミが減らせるよう、食べきり少量パック、ばら売り、詰め替え用商品の取扱いを推進します。 新宿区フードドライブ提供窓口として、区民の皆様とともに地域の食品ロス削減と有効利用に努めます。	数値目標なし	
(4)	事業系ごみの削減 （再生可能エネルギー の活用などゼロカー ボンの推進）	食品廃棄物の発生抑制により減量を図ります。	食品廃棄率の監視を行うことで発生抑制につなげ排出量を削減します。	

◎取組の実績と今後について

--

3R推進行動計画書（令和6年度の計画）

事業者名：株式会社マルエツ

◎環境・3Rに対する考え方

お客さまと地域社会の未来を見据えた環境保全活動を進める。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実 績
(1)	容器包装の削減 （レジ袋・紙袋・包装紙等）	・店内放送、POP等でマイバック持参の呼びかけを実施 ・レジ袋削減の推進 ・ばら売りの実施（青果・果物） ・ギフト品の簡易包装の推奨	レジ袋未購入率 78%以上	
(2)	資源の店頭回収の推進	・店頭で2品目（紙パック・食品トレイ）を区内8店舗で回収 ・ペットボトルキャップの回収（売却益を途上国のワクチン第として寄付）	回収2品目について 前年比1.0%アップ	
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	・食品廃棄の削減 ・社内環境教育の実施 ・食品リサイクルの実施	食品リサイクル法の 再利用実施率 77.3%以上	
(4)	事業系ごみの削減 （再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進）	可燃ごみの削減	前年比の2%削減	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和6年度の計画）

町会・自治会名：

団体名：丸正チェーン商事株式会社

◎環境・3Rに対する考え方

区内事業者との削減指導及び情報共有の強化

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	資源の集団回収	マイバック持参の強化	-20%	
(2)	食品ロス削減の推進	リサイクルユース対応の促進	店舗ごとに設定	
(3)	リユース食器の利用	環境にやさしい素材の導入とバラ売り促進 3Rに基づいた対応の促進	店舗ごとに設定	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和6年度の計画）

事業者名：株式会社ファミリーマート

◎環境・3Rに対する考え方

環境問題をはじめとする社会課題の解決や持続可能な社会の実現に貢献する為、2030年及び2050年に向けた中長期目標として、「ファミマecoビジョン2050」を策定し、「温室効果ガス（CO2排出量）の削減」、「プラスチック対策」、「食品ロスの削減」の3つのテーマにもとづき、中長期的な数値目標を設定して取り組んでいます。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	例) 容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	①レジ袋有料化（3円～7円） ②お客さまへ必要かどうかの意思確認 ③フォークの配布原則中止 ④店内放送、店頭ポスター、レジ周辺の告知	オリジナル商品並びに用度品を含めた環境配慮型素材の割合2030年までに70%	
(2)	例) 資源の店頭回収の推進			
(3)	例) 食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	①商品の発注精度向上 ②容器包装の改良等によるロングライフ化の推進 ③消費期限の近い商品の値下販売	食品ロス削減 2018年対比 2030年50%削減 2050年80%削減	
(4)	例) 事業系ごみの削減 (再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進)	①ごみの分別の徹底 ②食品残渣の飼料化等リサイクル		

◎取組の実績と今後について

--

3R推進行動計画書（令和6年度の計画）

事業者名：株式会社 三越伊勢丹

◎環境・3Rに対する考え方

三越伊勢丹グループは、お客さまをはじめ、かかわりあるすべての人々と向き合い、人と地球環境が調和する持続可能な社会の実現に向けて、環境保全活動を社会に対する企業としての責任と捉え、実行していきます。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・ 包装紙等)	・従業員・取引先販売員への教育 ・スマートラッピングの推進 (店内放送等を通じたお客さまへの呼びかけ) ・三越伊勢丹オリジナルコンパクトバッグの販売等を通じた、マイバッグ使用の拡大	・容器包装使用量の売上当たり使用量前年度比5%削減	
(2)	資源の店頭回収の推進	・「アイムグリーン※」の取組推進 ※お客様の使わなくなったお品物を整理し、お買取 または お引取するサービス	・取扱高前年度比5%プラス	
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	・従業員教育の推進 ・クリスマス、節分などの予約販売 ・天候を踏まえた販売計画 ・食品廃棄物総量の削減	・食品廃棄物の売上当たり発生量前年度比3%以上削減	
(4)	事業系ごみの削減 (再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進)	・従業員・取引先販売員に対する分別教育の実施(年2回) ・食品、レストランテナントへの生ごみの分別依頼の徹底	・リサイクル率82%以上	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和6年度の計画）

事業者名：株式会社 小田急百貨店 新宿店

◎環境・3Rに対する考え方

小田急百貨店は、「企業活動を通じて社会に貢献する」という企業理念のもと、百貨店業としての自覚と責任を心がけ、環境保全に配慮し、地球環境にやさしい生活提案を行い、環境に負担をかけない豊かな社会生活の実現に貢献する企業活動を行います。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 （レジ袋・紙袋・包装紙等）	・スマートラッピングの推進（お客さまへ簡易包装のお声かけ、適正サイズの包装資材使用を推進） ・買物袋使用量削減の促進（手提袋の有料化を実施し、マイバッグの利用促進）	・紙製包装紙、同手提袋、同一般袋使用量前年比5%削減（数量換算、売上増減率に正比例）及びプラスチック製手提袋使用量対前年5%削減（数量換算、売上増減率に正比例）	
(2)	資源の店頭回収の推進	・お取引先との協業による、資源の店頭回収キャンペーンの実施	—	
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	・食品残渣の飼料化推進	—	
(4)	事業系ごみの削減 （再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進）	・リサイクルの推進 ・会議用資料のペーパーレス化の推進	・廃棄物最終処分量3%削減（対前年）	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和6年度の計画）

事業者名：（株）京王百貨店

◎環境・3Rに対する考え方

京王百貨店は、行動理念に「かけがえのない地球環境に配慮した企業活動に努めます。」と掲げ、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減など環境負荷低減の活動を行っていきます。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減（レジ袋・紙袋・包装紙等）	①スマートラップの推進：贈答品の包装、簡易包装、包装なし等、目的に応じた包装体裁の推進 ②マイバッグの販売および利用推進 ③有料手提げ袋の価格変更：有料手提げ袋（プラ製、紙製）を5月より大きさ別に価格を上げ、マイバッグのさらなる利用促進と手提げ袋の使用量削減を促進。	②③当社オリジナルバッグ販売収益の一部を環境保全活動へ寄付予定 ③容器包装使用重量の前年原単位比減を目指す。 ※原単位＝容器包装使用重量÷購買客数	
(2)	店頭回収の推進	①衣料品関連の引取りキャンペーンの開催（婦人・紳士衣料） ②リサイクルショップの常設	年20回程開催予定	
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	①食品ロス削減につながる商品の展開 ②「プラスチック資源循環促進法」に基づき、お客様に無償でお渡ししている特定プラ（カトラリー類・ハンガー・衣類用カバー）の提供量把握と削減に向けた取り組み	①訳あり商品の継続販売や過剰生産抑制のための受注販売の拡大等 ②特定プラの提供率を、2030年度までに2021年度比で25%以上削減	
(4)	事業系ごみの削減（ゼロカーボンの推進）	①廃油油を回収しSAF（持続可能な航空燃料）に再利用する取り組み開始 ②生ゴミの分別徹底による家畜用飼料化の推進 ③ペーパーレス化の一層の推進	リサイクル率前年差向上	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和6年度の取組）

事業者名：(株)高島屋新宿店

◎環境・3Rに対する考え方

当社グループにおいては、環境方針において地球温暖化の防止やCO2排出量削減を掲げ、お客様やお取引先、地域社会など、多くの人々と直接的な接点を持つという事業特性を生かしながら、循環型社会の実現に貢献する“循環型ビジネス”“廃棄プラスチック・食品ロスの削減”などを重点課題とする、地球資源を再生・修復するビジネスへと変革し、持続可能な社会の実現に貢献することを目指している。

	項 目	取組内容	数値目標等	実 績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	①売場での簡易包装およびマイバック利用促進のお客様への更なるお声掛け。 ②環境問題に関する従業員への啓蒙強化	買物袋・ビニール袋・包装紙などの使用量の 前年維持	
(2)	店頭回収の推進	①メーカーとの協働による衣料品回収キャンペーンの推進 ②当社独自循環型ビジネスへの理解促進・告知推進 ③リサイクルを意識したペットボトル回収の推進	回収企画へ参加員数 前年比10%アップ	
(3)	食品ロス削減の推進	①社内外でのフードバンク活動の推進 ②社員食堂の生ごみの更なる削減に向けた具体策の実施	①社内参加者の増および実施回数の増 ②社員食堂の生ごみ 3%削減	
(4)	事業系ごみの削減 (再生可能エネルギー等の検討、ゼロカーボンの推進)	①紙類分別、ペットボトルの回収など、リサイクル意識の更なる啓蒙 ②地域冷暖房システムの有効活用によるCO2排出量の削減	①建物全体のごみ総量3%削減・建物全体のリサイクル率80%達成。 ②CO2排出量2%削減。	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和6年度の計画）

事業者名：(株)丸井 新宿マルイ本館

◎環境・3Rに対する考え方

丸井グループのミッション＝『すべての人がインクルーシブで豊かな社会』。その中で＜将来世代の未来を共に創る＞を目指す為、戦略としては、①「再エネ導入・自社発電保有」②「商品・委託先の低炭素化」③「環境配慮型店舗への転換」④「事業構造の最適化」を計画しています。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	再生可能エネルギーの促進 ＜丸井G＞	①GHG（温室効果ガス）の排出削減 ②再生可能エネルギーの使用量拡大	①Scope1,2計目標 8万t(前年比100%)、Scope3計 23万t(前年比100%) ②再生可能エネルギー比率75%(+7P) 25年度80%(+10P)を目指す	
(2)	「脱プラスチック」の取組強化 ＜丸井G＞	プラスチック容器使用量削減	20t(前年比74%)	
(3)	分別促進による「リサイクル生ごみ」拡大 (新宿店)	カフェ・レストランテナント中心に分別の徹底	リサイクル生ゴミ前年比95%	
(4)	リサイクル率の向上 (新宿店)	テナントごとに月別リサイクル率を開示し、核テナントのリサイクルに対する意識を高揚させる。	店計 72%(+2P)	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和6年度の計画）

事業者名：株式会社ルミネ

◎環境・3Rに対する考え方

当社のサステナビリティ方針「WE ILLUMINATE THE FUTURE わたしが選ぶ毎日が、わたしたちの未来をつくっていく」の取り組みテーマの一つである「THE PLANET 環境と社会にポジティブな変化を」の重点項目「サステナブル消費の拡大」「資源循環、廃棄物／食品ロスの削減」「気候変動への取り組み」「サプライチェーンの環境／人権問題への対応」に基づき、3R推進に貢献する取り組みを推進します。

	3Rを推進する 取組	内容	数値目標等	実 績
(1)	衣料品回収拠点の 創出	お客さま（生活者）の3R推進アクション機会として、館内に衣料品回収ボックスを設置し、衣料品における3R推進を行う。 ・ルミネの資源循環サービス『anewloop』 https://www.lumine.ne.jp/topics/topics_details.php?article_no=685	（全社）2023年6月スタート 時回収拠点：2館、ネット通販「アイルミネ」 *2024年6月：ルミネ新宿館内に回収ボックスを設置	
(2)	食品廃棄物の削減 および食品リサイ クルの推進	食品廃棄物削減と、排出される食品廃棄物のリサイクル回収（バイオガス発電に再利用）を継続する。 出店テナントへの分別徹底を維持するため、入店前のスタッフ研修にて分別の協力依頼、日常の監視と指導を行う。	（2030年度全社目標） 食品リサイクル：100%	
(3)	ゼロカーボンの 推進： クリーンエネル ギーの使用	脱炭素の取り組みを、JR東日本グループの「ゼロカーボン・チャレンジ2050」に基づき実行する。 各店使用するエネルギーのうち、主に電力・ガスに関して、クリーンエネルギーを導入する。	（全社目標：2013年度基準） 2030年度：カーボンハーフ 2050年度：ゼロカーボン	
(4)	ゼロカーボンの 推進： 省エネの継続	脱炭素の取り組みを、JR東日本グループの「ゼロカーボン・チャレンジ2050」に基づき実行する。 各店設備投資（LEDや空調機器類）及び、日々のエネルギーマネジメントの継続により、省エネを推進する。	（全社目標） エネルギー使用量原単位毎年1%削減	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和6年度の計画）

事業者名：株式会社エフピコ

◎環境・3Rに対する考え方

リデュース：食品容器の軽量化や薄肉化を推進し、減量資源の発生抑制を行う。
リサイクル：使用済み発泡トレー、PETボトル、透明容器の回収を拡大し、再商品化を行う。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 （レジ袋・紙袋・包装紙等）	環境学習の機会提供のため出前授業や、オンラインによる講演を積極的に実施する。	出前授業等での外部聴講者数。 目標値：5000名 工場見学者数：全国10000名を目標	
(2)	資源の店頭回収の推進	トレーtoトレー、ボトルtoボトルのリサイクルを拡大するために、回収量の増加を目指す。	食品トレー： 10,500t PETボトル： 80,000t	
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	プラスチックの使用量減と、代替素材の開発	製品の軽量化ラインナップの増加	
(4)	事業系ごみの削減 （再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進）	■PPAの導入（太陽光発電）再生可能エネルギーへの転換	再生可能エネルギーの導入	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和6年度の計画）

事業者名：日本マクドナルド株式会社

◎環境・3Rに対する考え方

環境に対する理念【地球の事を考えて行動する】を持って全国約3000店舗でレストランを営業させて頂いております。企業の責任として作る責任、つかう責任を常に考え、特にリデュース、リサイクルを促進していきます。

	項 目	取組内容	数値目標等	実 績
(1)	プラスチック製容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	・プラスチックバッグの有料化による使用量の削減テストを長崎県で実施	レジ袋使用量30%以上削減	
(2)	資源の店頭回収の推進	ハッピーセットおもちゃ リサイクル回収の継続	年間300万個以上回収	
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	MFYシステムの維持向上	完成品廃棄量100 万円当たり1.8kg 以下	
(4)	再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進	再生可能エネルギーに由来した電力導入	100店舗追加導入	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和6年度の計画）

事業者名：コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

◎環境・3Rに対する考え方

「容器の2030年ビジョン」に基づき設計・回収・パートナーの3本柱で「World Without Waste（廃棄物ゼロ社会）」を目指します

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	「ボトルtoボトル」の更なる拡大	パートナーを協働し、使用済みのPETボトルを製品のPETボトルに生まれ変わらせる「ボトルtoボトル」リサイクル等を推進し、資源循環型社会の実現に貢献します	2030年までに「ボトルtoボトル」の推進等によりすべてのPETボトルを100%サステイナブル素材に切り替えます	
(2)	プラスチック使用量の削減	製品の容器包装軽量化やラベルレスの導入の拡大を通し、プラスチックの使用量を削減します	2030年までに2004年比で製品1本あたりのPET樹脂の使用量35%削減を目指します	
(3)	リユース容器の市場展開の拡大	「ボナクア」（水の給水サービス）等を通してリユース容器の市場展開の拡大を目指します		
(4)				

◎取組の実績と今後について

--

3R推進行動計画書（令和6年度の計画）

団体名：新宿区商店会連合会

◎環境・3Rに対する考え方

地域環境に配慮しながら、地域の安心安全を実現する

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	事業者への理解と協力	ごみ減量等について会員へ周知	年1回	
(2)	区民・来街者への啓発	エコバッグを作成しレジ袋の発行減を図る	年1回	
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	食料品販売時における消費者への啓もう及びプラスチックトレーの減量、飲食店における食べ残しを無くすメニューの提案	食品ロス分とごみ減量による回収量の低減	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和6年度の計画）

団体名： 四谷清掃協力会

◎環境・3Rに対する考え方

四谷清掃協力会の活動内容を地域に発信し、区民との対話を通じて、環境改善の課題としてのごみの減量化やリサイクルの適正化の復旧活動に積極的に取り組む。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	事業者への理解と協力	・3R推進事業者の情報について、各種会合等の場で周知。	年数回	
(2)	区民・来街者への啓発	①四谷リサイクルフェアを開催し、フリーマーケット等を実施する。 ②四谷ごみゼロデーに道路清掃活動を実施。 ③ごみ減量キャンペーンを実施し、ティッシュ・チラシを配布。	年1回 年2回 年2回	
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	①マイバッグの持参 ②商品の簡易包装 ③環境に優しい商品の購入 ④ごみと資源の分別 ⑤繰り返し使えるものは繰り返し使う ⑥食品ロスの削減に向けての取り組み	毎日	

◎取組の実績と今後について

--

3R推進行動計画書（令和6年度の計画）

団体名：牛込清掃協力会

◎環境・3Rに対する考え方

牛込地区の「エコな暮らし」発言元として、牛込清掃協力会の活動を地域に周知しながら、ごみの減量化やリサイクルの適正化の普及など、3Rの推進に取り組む。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	例) 事業者への理解と協力	・3R推進事業者の情報を役員会、女性部会等を通して会員で共有する。	年1回	
(2)	例) 区民・来街者への啓発	・10月の3R推進月間には、普及啓発用のチラシを町会掲示板へ掲示し、会員とその関係者へ配布。 ・エコ川柳事業を行う。	・随時 ・エコ川柳（令和6年9月～令和7年2月）	
(3)	例) 食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	・マイバッグ、マイボトル持参。 ・環境に配慮した商品を選ぶ。 ・エコクッキングを実践する。 ・リサイクルを徹底し、更にごみを減らす工夫をする。 ・食品ロス削減レシピを活用する。	・毎日	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和6年度の取組）

団体名： 新宿西清掃協力会

◎環境・3Rに対する考え方

新宿西地区の住民とともに、ごみの減量、3Rの推進に向けた様々な活動を行っていく。

	項 目	取組み内容	数値目標等	実 績
(1)	事業者への理解と協力	廃棄物を少なくするためにごみ減量キャンペーン等に取り組む事で、事業者と協力して廃棄物の減量とリサイクルの推進を啓発する。	年1～2回	
(2)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	・ごみ減量絵画展を開催する。 ・3R推進月間、食品ロス削減月間にポスターの掲示、チラシ等を配布。	年1回 年1回	
(3)	ライフスタイルにおける3Rの推進	・ごみと資源の分別を心掛け、ごみの発生を抑える。 ・マイバッグを持参し、環境に優しい商品の購入につとめる。 ・ライフスタイルを見直し、資源循環型ライフスタイルを積極的に行う。 ・ごみを出さない為に、余計なものは買わない。	毎日	

◎取組みの実績と今後について

3R推進行動計画書（令和6年度の取組）

団体名：新宿区婦人団体協議会

◎環境・3Rに対する考え方

地区協などとも協力し、みどり豊かな新宿区を目指し、一人一人が心がけ、輪を大きくしていく。会員をはじめ、各団体にも周知していくよう頑張っていきたい。

	項 目	取組内容	数値目標等	実 績
(1)	事業者への理解と協力			
(2)	区民・来街者への啓発			
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	地域のイベントでの給食では箸、皿、椀等はリユース食器での提供をしています。また、大根や蕪等の葉等の食材も有効に使っています。		

◎取組の実績と今後について

--

3R推進行動計画書（令和6年度の取組）

団体名： 新宿区エコライフ推進協議会

◎環境・3Rに対する考え方

当会は、新宿区の環境基本条例に基づき区長から「エコライフ推進員」を委嘱された区民で構成する会です。自らエコライフを実践するとともに、地域においてその普及のための活動を行います。今年度第11期として任命された推進員が、①新宿いきもの分科会、②資源循環型社会の実現をめざす分科会、③環境対策分科会に分かれ、研究及び普及と啓発活動を行っていきます。

	項 目	取組み内容	数値目標等	実 績
(1)	事業者への理解と協力	3R推進事業者の情報について会員に周知	エコライフ推進協議会にて随時周知	
(2)	区民・来街者への啓発	環境啓発行事における普及啓発(ごみと資源の正しい分け方・出し方) パネルや展示物を使用した情報の提供	「エコライフまつり」「3R推進キャンペーン」「まちな先生見本市」等毎年度参加	
(3)	ごみの減量と資源の有効活用の推進	ごみ分別の徹底 ごみになるものを減らす 物を工夫して繰り返し使う 再生利用する	随時	

◎取組みの実績と今後について

--

3R推進行動計画書（令和6年度の計画）

事業者名：NPO法人新宿環境活動ネット

◎環境・3Rに対する考え方

当NPO法人は、2004年から新宿区立環境学習情報センターの指定管理者を担っておりま
す。「ゼロカーボンシティ新宿」の実現に向けて、区民・事業者の皆様と連携しながら、3R
を暮らしや事業に活かす重要性に気づき、実践に移す活動を展開してまいります。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実 績
(1)	例) 容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装 紙等)	主催イベントにおける使 い捨てプラスチックの削 減	主催イベントや講 座において、レジ 袋などのワンウェ イプラスチックの 使用をできる限り とりやめ、3R推進 に向けて率先して 取り組む。	
(2)	例) 資源の店頭回収の 推進	新宿区立環境学習情報セ ンター「リサイクルス テーション」の設置	環境学習情報セン ターに「リサイク ルステーション」 を設置し、区民か ら小型家電や電 池、インクカード リッチ、廃食油等 を回収する。	
(3)	例) 食品ロス・使い捨 てプラスチック削減の 推進	再生品の積極的な購入	コピー用紙は再生 紙を購入するな ど、環境配慮製品 を積極的に選択す る。	
(4)	例) 事業系ごみの削減 (再生可能エネルギー の活用などゼロカーボ ンの推進)	新宿区立環境学習情報セ ンター及び区民ギャ ラリーのごみ分別の推進及 びごみ排出量の削減	新宿区立環境学習 情報センター及び 区民ギャラリーに おけるごみ排出量 の削減を目指す。	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和6年度の計画）

団体名：新宿区のリサイクルを考える会

◎環境・3Rに対する考え方

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	紙おむつリサイクルに関する調査、理解	紙おむつの炭化処理などの実際を見学、調査する。	年2回程度	
(2)	区民・来街者への啓発	リサイクル関係のイベントなどで調査、見学した内容を展示し、区民・来街者への啓発に努める。	年数回	
(3)	区民の立場からの検討	集団回収、製品プラスチックのリサイクルなどの課題および家庭ごみ有料化について考える。	年数回	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和6年度の計画）

団体名：新宿環境リサイクル活動の会

◎環境・3Rに対する考え方

次世代を担う子供達に良い環境を残すための活動。講座やイベントを通し、地球を汚さないいろいろな工夫を、区民に平易な言葉で伝えていく。日々の努力と人々の連携は大切。生活の中の工夫を楽しむ仲間を増やしていきたい。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	事業者への理解と協力	3R推進事業者の情報について会員で共有・発信する。 イベントの開催に協力する。	宣伝周知チラシや情報を打合せ会で伝え、話し合う。 新宿リサイクル活動センターの取り組みにできる限り協力する。	
(2)	区民・来街者への啓発	3Rに係る講習会の開催。 環境リサイクル講座やイベント参加を通して情報提供と啓発活動。 （3R協議会のイベントと、新宿リサイクル活動センターが開催するイベント11月・3月に参加）	令和5年度は合計19回開催。応募者220人、参加者138人、スタッフ82人。	
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	日々の生活の中で、風呂敷を活用し、マイバック、マイボトル、マイはしをできるだけ持ち歩く。食品ロス削減に尽力する。マイクロプラスチック削減のためライフスタイルを見直す。（自然素材のものを身につける等各自努力する。エコキャップを素材としてリサイクルできることを周知する）	各自が日々の生活の中で取り組む。	

◎取組の実績と今後について

--

3R推進行動計画書（令和6年度の計画）

団体名：新宿区立リサイクル活動センター
（公益財団法人新宿区勤労者・仕事支援センター）

※赤枠内を記入

◎環境・3Rに対する考え方

当財団は指定管理者として、新宿リサイクル活動センター及び西早稲田リサイクル活動センターの運営を行っている。リサイクル活動センターが運営理念とする「3R、つなぐ、育む、まわるまち」の実現を通して、新宿を「資源」が循環し、人や組織の持つ暮らしの工夫や知恵、3Rの技術がまわる、資源循環型のまちにしていけるための事業を実施する。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	事業者への理解と協力	・広報紙「たのしくリサイクル」の発行 ・ホームページによる情報発信 ・環境学習、施設見学等の受入れ ・環境、リサイクルイベントの企業、団体等の参加協力	・年2回 ・随時更新 ・年30回（延べ250人） ・年3回（延べ40企業、団体等）	
(2)	区民・来街者への啓発	・環境・リサイクルイベントの実施 ・3R普及啓発ミニ行事（フリーマーケット、洋服ポスト、フードドライブ） ・チラシによる講座等の周知 ・環境、リサイクル講座の開催（協働型講座、直営型講座、出前講座） ・ホームページでの周知	・年3回 ・月4回（フリマ）（5週目の土日等を除く） ・月1回（洋服ポスト） ・月4回（フードドライブ） ・毎月1回発行 ・協働講座：年28回 ・直営講座：年12回 ・出前講座：年14回 ・随時	
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	・資源回収ボックス等の設置 ・事務所にて廃食油の回収 ・リサイクルショップ「もいちど倶楽部」の運営 ・家具リユース事業	・9品目の回収 ・回収量600L ・利用登録者2,000名 ・販売点数42,750点 ・販売率80% ・家具販売点数495点	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書

(令和6年度の計画)

新宿区

◎環境・3Rに対する考え方

令和5年2月に新宿区は「一般廃棄物処理基本計画」を改定し、「食品ロス削減推進計画」を策定した。3Rの一層の推進のため、①食品ロスの削減、②プラスチックごみの削減・資源化、③家庭ごみの分別の徹底を掲げている。

	項 目	取組み内容	数値目標等	実 績
(1)	普及啓発及びその他体制の整備・拡充	広報紙、ホームページ、環境学習、行事での普及啓発 リサイクル活動センター、環境学習情報センターによる普及啓発事業	随時 随時	
(2)	事業者、区民団体が行う3R活動の広報	イベント等の実施 区広報による周知 ホームページでの周知	開催 随時 随時	
(3)	適正なごみ処理とリサイクルの推進	「ごみ半減、リサイクル倍増」に向けた区民への排出指導や資源回収への支援 分別の徹底による資源化の推進	令和5年度 区民一人 1日あたりごみ量 520g	
(4)	各種調整等	新宿区3R推進協議会全体会、分科会の開催	全体会 3回 分科会 3回	

◎取組みの実績と今後について

3R推進行動計画書（令和6年度の計画）

事業者名：株式会社良品計画

◎環境・3Rに対する考え方

良品計画は、重要課題として、資源循環型・自然共生型の社会の実現を掲げています。自然界の貴重な資源がこの先もずっと無理なく循環していく社会に向けて、一部商品を対象に、お客さまから不要になった商品を店舗で回収し、リユース商品や再生原料として活用するリユース・リサイクル活動に取り組んでいます。また、今後の商品開発ではリデュースはもちろんのこと、資源循環を基本としたサーキュラーデザイン・素材で商品化を進めていきます。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	繊維製品の回収量目標	未公開	
(2)	資源の店頭回収の推進	ReMUJI年間販売数目標	未公開	
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	プラスチック収納の回収量目標	未公開	
(4)	事業系ごみの削減 (再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進)	再生プラスチック商品の販売目標	未公開	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和6年度の計画）

事業者名：株式会社ダイエー

◎環境・3Rに対する考え方

販売商品の容器を店で回収し、商品の容器としてリサイクルする活動を推進しています。24年度からJAL様と連携し、ご家庭で使用済みの廃食油を一部店舗で回収しSAF（持続可能な航空燃料）にリサイクルする活動をスタートしました。

	3Rを推進する取組	内容	数値目標等	実 績
(1)	フードドライブ回収量	余剰食品や期限切れ食品を店舗で回収し、子供食堂へ寄附。	40t	
(2)	リサイクル活動	回収したペットボトルをイオントップバリューの容器にリサイクルするサーキュラーエコノミーの取り組みとして、ペットボトルの回収を強化しています。	ペットボトル回収量 570t	
(3)				
(4)				

◎取組の実績と今後について

--